

# 時間がないことをマイナスに捉えず、集中して 取り組めることをプラスに考えて頑張ってください。

**進路変更、働きながらの公務員受験でしたが、学んできた法律を活かす公務員の仕事に出会えて良かったです。**

## ■なぜ公務員になろうと考えましたか？

私は、法科大学院を卒業したあと、司法試験に挑戦しながら2年7か月事務の仕事をしていましたが、法律を学ぶ中で行政にも興味を持つようになっていました。そんな時、公務員としてのやりがいと使命感を持って働いているゼミの同期や実際に公務員として活躍されている先輩からも直接お話を聞く機会があり、公務員に魅力を感じるようになりました。民間で働いているとやはり会社の利益のために働くことになりませんが、公務員だと国民全体のための仕事となるため、その仕事のスケールの違いを目の当たりにし、より公務員になりたいと思いました。

## ■受験された試験について教えてください。

国家総合職、国家一般職、国税専門官、裁判所事務官、神奈川県庁を受験しました。そのうち一次試験を通過したのが、国家総合職、国税専門官、神奈川県庁の3つです。国家総合職は最終合格まで進みましたが、神奈川県庁は二次試験が国税専門官の試験と日程が重なってしまい二次試験で辞退をさせていただきました。

## ■国税専門官に決められた理由を教えてください。

一番大きい理由としては、公務員試験の中でも専門職という部分で、自分自身が学んできた法律を活かすことができると考えたからです。

## ■どのような公務員になり、どんな仕事をしたいですか？

この人が公務員でよかったと思ってもらえるような公務員になりたいです。また、今まで培ってきた経験や知識を活かす仕事をしたいと考えております。

## ■当社の通信講座を知ったきっかけは？

空き時間で勉強をしたいと考えていて、通信制ではなく通信講座を探していました。その中でも利用しやすいものをインターネットで調べていくうちに、『実務教育出版』という聞いたことのある名前の出版社で、公務員試験対策により特化しているのではないかと思います。資料請求をしました。申し込みをしたあとに、自分に合わなかったらどうしようという不安はありましたが、

資料請求をして教材の一部を確認することができ、質問ができる制度もあったので、もしわからなかった場合でもこの制度を利用できるという安心感がありました。

## ■1日のタイムスケジュールは？

月・水・木・土と週4日で働いていたので、仕事がある日は始業前に30分~40分ほどカフェなどで勉強し、お昼休みは自席でお弁当を食べながら見直しに重点をおいて復習をしました。定時が5時で、残業が平均30分~1時間あり、その後自分の住んでいる地域の図書館に行き、夜9時まで2時間ほど勉強をして帰宅をしていました。仕事がない日は、朝9時から夜9時まで図書館で勉強をしていました。基本的に試験の直前期までこのスケジュールで勉強を進めました。試験勉強を始めた頃は基礎問題を1周、2周と問題をどんどん回していき、直前期には見直しができるものを移動中に読んでいました。時事問題に関しては『速攻の時事』を直前期に読み込みました。働きながらの勉強でしたが、ずっと勉強をし続けるというのもつらかったと思うので、仕事と勉強とメリハリをつけながら対策ができたのは良かったです。

## ■1週間の勉強時間は？

仕事がある日が2時間半~3時間ほどで、仕事がない日が9時間くらいだったため、1週間に40時間ほど勉強をしていました。

## ■仕事はいつまで続けていましたか？

2018年3月31日までなので、基本的にはずっと続けていました。土曜日が仕事だったので、一次試験の前日は仕事ということが多かったです。二次試験の面接などは平日が多けどしても仕事と重なってしまうことがあるため、そのようなときはお休みをいただきました。

**この教材をマスターすればいいと考えられたことがよかったです。やるからにはとことん楽しもう!と思って取り組みました。**

## ■学習するにあたり、最初に取り組んだ科目は何ですか？

2016年10月から通信講座を受講したのですが、届いた教材の中で真っ先に取り組んだのは、数学の基礎ドリルという冊子でした。数学の基礎ドリルは忘れていた知識を呼び戻してくれたのがすごくよかったです。数的推理と判断推理が一番苦手な科目でしたが、公務員試験の科目の比率も多かったため、苦手分野でもしっかりと固めておかないと合格をすることはできないと思い、取り組みました。試験直前期はできなかった問題だけを解くようにしていましたが、この2冊はずっと大切に持っていました。

## ■次に取り組んだ科目は？

2016年12月頃から一般知識系の科目にも取り組みました。まず朝の移動時間に[知識分野] 要点チェックを見て、頭を目覚めさせます。わからなかった問題は、あとでテキストブックで確認をしました。場合によってはレポート用紙1枚程度に自分でまとめて、流れを覚えるようにもしました。社会科学、人文科学、自然科学のテキストブックはどれも薄かったので勉強しやす

かったです。3分野とも平均的に継続的に対策していました。また、歴史などは休みの日の勉強のなかで、1~2時間リフレッシュがてら勉強をしていました。文章理解は得意分野だったため、2017年2月くらいから、1日に3~4問まとめて解いて、一通り解いたら終わりにしました。対策期間は2週間程度だったと思います。資料解釈も同じ時期に気になる問題だけをピックアップして勉強していました。

## ■専門科目はどのように対策をしましたか？

法律は得意だったので、休憩時間などに市販されている公務員試験用の『六法全書』を内容を忘れない程度にパラパラと確認しました。法律系は大学院生のときに利用していた教材も使用しました。経済系科目については、試験問題のなかでできる限り選択しないようにしていましたが、国税専門官の試験では会計学を選択する必要があったため、『直前対策ブック』に記載されている内容と、テキストブックのなかの経済学の方を確認しました。得意科目の法律系でカバーして、経済系科目は必要とところだけを浅く対策をしていました。

## ■弱点克服法は？

数的推理と判断推理に苦手意識がありましたが、日々習慣化させて苦手意識がなくなるくらい、とにかく問題にふれる機会を作りました。解ける問題が増えてくると自信にもつながり、得意までとはいかないですが弱点ではなくなっていったと思います。また質問回答も2回ほど利用しました。想像以上にすごく丁寧な回答をいただけて利用してよかったです。



忘れていた知識を呼び戻してくれた「数学の基礎ドリル」と丁寧な「質問回答」がとてもよかったです。

## Profile

**国家専門職  
国税専門官** 採用

**伊比 敬子さん**  
神奈川大学大学院修了  
大卒程度公務員コース 受講



## 直前期は不安から色々と手をつけたくりますが、教材をやりきることで得られる自信が大切です！

■直前対策ブックは利用されましたか？  
はい。3月中旬に届き『速攻の時事』と併用して利用しました。的を得ている問題が掲載されていてよかったです。『直前対策ブック』に掲載されている問題がおそらく本番の試験にも出題されたと思います。直前期は不安から色々な教材に手をつけたいのですが、公務員試験に実績のある実務教育出版が刊行している本ということもあり、それを信じて直前対策ブックを丸暗記するくらい勉強しました。苦手な経済もこの本を頼りにしました。

■論文対策は？  
休みの日に時間を計って論文対策をしていました。問題を読み、構成を考えて書くというのを1時間で時間を決めて書いていました。時間を計って論文を書くことは、対策をしなくなってしまうと書けなくなって

しまうため、意識をして取り組むようにしていました。

■面接対策は？  
国家総合職や国税専門官に実際に試験を受けた大学の同期や先輩に、本番と同じように面接官3人に対して答える模擬面接を4回ほど実施していただきました。また、外部の面接対策にも2回申し込みました。



直前期は「速攻の時事」「直前対策ブック」と見直しができるまとめノートを徹底的に読み込みました。

■大学の公務員試験対策セミナーなど利用されましたか？  
大学院に進んだ人のための公務員試験の説明会や相談会に参加しました。大学院に進んで公務員試験を受けた先輩が、同じような後輩の力になるようなことをしたいと大学側と協力していたため、そのような機会を設けていただけていました。

■通信講座の教材以外に使用した問題集などありますか？  
『解法の玉手箱』は先輩のすすめもあり、数的推理と判断推理の両方を利用しました。テキスト&ワークを2周目解くときに玉手箱と併用し、試験直前期まで利用しました。全部の問題を完璧に解くことは難しいですが、最低限自分の解ける問題を落とさないようにすることは、できるようになったと思います。

■勉強をするにあたって、工夫されたことはありますか？  
苦手を克服するために、図形問題などは紙

粘土を100均で買ってブロックを作って上から見たり、実際に切ったり、自分の目で見て覚えるようにしました。苦手だからこそ、楽しく覚えようと工夫しました。また、図書館ではCDが聴けるコーナーで休憩し、クラシックを聴きながら音楽の歴史を覚えたり、勉強にも役立ちました。

■犠牲にしたことはありましたか？  
友人と会わないようにしていました。友人と出かけるというリフレッシュは苦手だったので、遊ぶのは試験が終わってからと決めていました。誘いがあっても断っていたのでさみしくもありましたが、その分勉強をとことん楽しんで取り組みました。

■つらかったことは何ですか？  
残業になると、予定していた勉強のスケジュールがくるってしまうことがストレスでした。また、友だちと遊べないのもストレスでした。

■モチベーションを上げる方法は？

音楽を聞いたり、お気に入りの文房具を使ったり、たまに普段よりも値段の高い飲み物を飲んだりして、モチベーションを上げていました。

■講座を受講する前と後での変化は？  
まとめて教材が届き、この教材をこなせばいいと考えられたところがよかったです。インターネットで調べるといいと言われる参考書など沢山あるのですが、それらを1つ1つ納得して選ぶのは大変だと感じていたので手間が省けてよかったです。またこの教材をやりきったことで自信がついたことが大きかったと思います。

■講座を受講してよかったことは？  
テキストは細かく単元があるので、目標設定をしやすかったのがよかったです。またテキストの横に間違えやすいポイントが記載してあったのが特によかったです。

■これから受験する方へのメッセージをお願いします。

時間がなくてもこれだけはやると決めたテキストを何度も繰り返し、とにかく自信を持ってほしいです。また、最後は自分で自分のことを信じてあげられないので、周りは気にせず“真剣は不可能を可能にさせる”くらいの気持ちで、強気で臨んでほしいと思います。応援しています！



### 年間のスケジュール

	2016年 10月	11月	12月	2017年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
教養試験	知識分野			社会科学・人文科学・自然科学 3分野とも平均的に実施 すぎま時間に要点チェックを1テーマずつ解く					直前対策ブック・速攻の時事を読み込む		
	知能分野			判断推理・数的推理(テキスト&ワーク) 1回目	2回目 解法の玉手箱併用				間違えた問題だけを何度も繰り返し解く		
専門試験	行政系科目								直前対策ブックに記載されている内容を中心に確認		
	法律系科目										週3回は、憲法・民法・刑法の問題を解く
	経済系科目										テキストブック経済学の分野を確認 直前対策ブックに記載されている内容を確認
面接・論文				自己分析					面接カード(作成・添削)	OB・OG模擬面接(4回)	模擬面接外部(2回)
				休みの日のみ時間を計って論文対策(1時間で問題を読み構成を考えて書く)							
メモ								国家総合職1次(4/30)	国家総合職2次(5月下旬~6月中旬)	国税専門官1次(6/11) 神奈川県庁1次(6/25) 国家総合職最終合格(6/30)	国税専門官2次(7/18) 国税専門官最終合格(8/23)

### 1日のスケジュール

仕事のある日	仕事のない日	休日
06:00	起床 支度	起床 支度
07:00	起床 朝食	起床 朝食
08:00	通勤 勉強(択一式)	勉強(ニュース記事チェック)
09:00	移動	移動
09:00	勉強 カフェ	
10:00		勉強 図書館
11:00	勉強 図書館	勉強 図書館
11:00	仕事	
12:00	昼食 勉強	昼食
13:00		勉強 図書館
14:00	勉強 図書館	勉強 図書館(民法/論文)
15:00	仕事	
16:00	休憩	休憩
17:00	移動	勉強
18:00	勉強(要点チェック)	勉強 図書館(民法/論文)
19:00	夕食	
20:00	勉強 図書館	
21:00	帰宅	帰宅
22:00	勉強(テキスト・ワーク)	
23:00		
24:00	就寝	就寝